

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-188050(P2007-188050A)
 【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)
 【年通号数】公開・登録公報2007-028
 【出願番号】特願2006-248125(P2006-248125)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 4

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月9日(2009.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー像を搬送するトナー像搬送体と、前記トナー像搬送体を着脱可能に支持する支持部材と、前記トナー像搬送体上の前記トナー像を検知する検知部材と、を備え、前記トナー像搬送体に前記トナー像が形成される像形成位置と、前記トナー像搬送体が前記支持部材に着脱される着脱位置へ移動可能なトナー像搬送体ユニットと、

前記トナー像搬送体にトナー像を形成するトナー像形成手段と、

前記検知部材の検知結果に基づき、前記トナー像形成手段のトナー像形成条件を制御する制御手段と、

前記トナー像搬送体ユニットを前記像形成位置から前記着脱位置へ移動させるための動作に連動し、前記トナー像を検知する位置に在る前記検知部材を、前記支持部材に支持される前記トナー像搬送体から遠ざかるように移動させる移動手段と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記検知部材は、前記検知する位置に在るとき、前記トナー像搬送体に接する部材に位置決めされていることを特徴とする請求項 1 項の画像形成装置。

【請求項 3】

前記トナー像形成手段は、前記トナー像搬送体に接触する感光体と、前記感光体を帯電する帯電手段と、帯電された前記感光体を露光して静電像を形成する露光手段と、静電像を現像する現像手段を備え、

前記移動手段は前記トナー像搬送体の前記感光体からの離間動作に連動して、前記検知部材を移動させることを特徴とする請求項 2 項の画像形成装置。

【請求項 4】

前記移動手段は、前記検知部材を支持する部材を回動させることで、前記検知部材を移動させることを特徴とする請求項 3 項の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 8 】

これにより、光学式センサ 4 7 1 は、中間転写ベルト 4 0 からの距離、送り方向の位置ともに正確に位置決めされ、トナーパッチの高精度な読み取りが保証される。